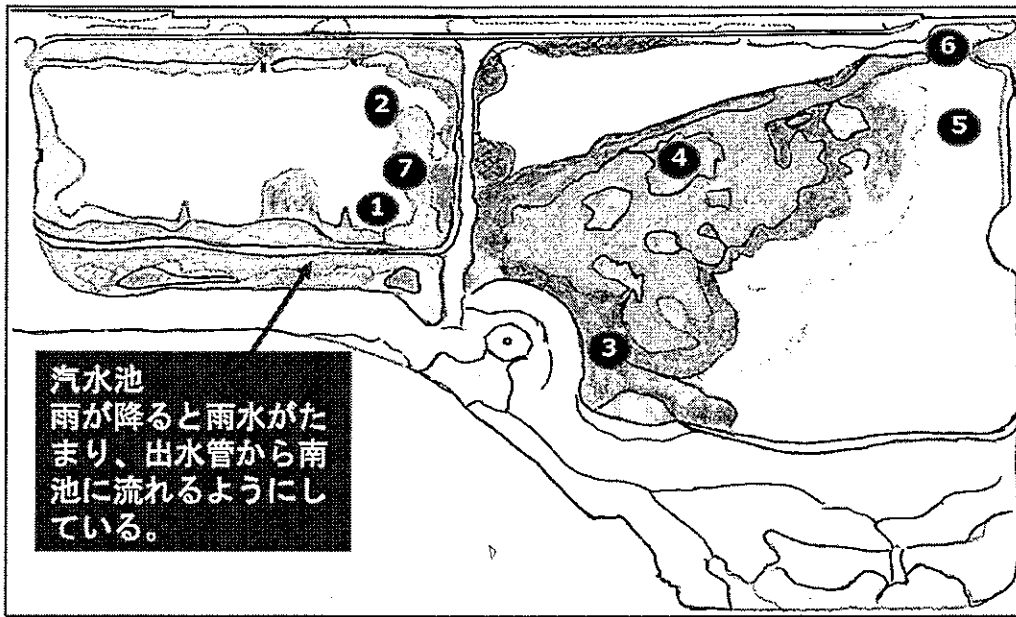


調査エリアごとのハクセンシオマネキの巣穴数の推移

調査エリア	2008年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
1	1	4	10	15	25	42
2	7	16	11	25	31	65
3	2	0	9	6	13	15
4	39	64	40	104	99	111
5	1	3	0	4	8	14
6	3	8	14	18	40	54
7	8	18	13	23	21	23
合計	61	113	97	195	237	324

➤ 塩分濃度の測定箇所(1~5:NPO+1・6・7:海遊館が測定)



塩分測定結果。単位はpsu (実用塩分)、2/15の調査 (ポケット塩分計PAL-06S (ATAGO社製)) のみ%

- ◆ 2017年7月5日: 前日に紀伊半島を台風通過。その後停滞前線の影響で10日午前中にかけて雨量多く、その影響で塩分濃度が12.1と低くなった。
- ◆ 2017年8月9日: 8月7日に台風5号が紀伊半島に上陸し大雨となった。その2日後の測定値は22.2となった。
- ◆ その他の測定日では、地点6での測定(上げ潮時)では、25.7~28.7であった(海遊館測定結果)。
- ◆ 汽水池の塩分濃度は、4~9%であった。

2017年	2017/6/21(中潮)			
	10:30~12:30			
St. 1	南池の汽水池付近	28.0‰ 表層 24.4℃	29‰ 水面下15センチ 24.6℃	
St. 2	南池の西側	28‰ 表層 24.0℃	30‰ 水面下20センチ 24.1℃	
St. 3	西池と滯筋でつながるヨシ原内の池	29‰ 表層 25.2℃	32‰ 水面下20センチ 25.1℃	
St. 4	展望塔前	30‰ 表層 25.9℃		
St. 5	北池鋼管前	25‰ 表層 24.1℃		
汽水池	南の汽水池	4‰ 表層 24.5℃	9‰ 水面下15センチ 24.7℃	

塩分濃度が低かった日 7/5

2017.7.5	13:25	12.1	西池 鋼管前 地点6
2017.7.5	13:40	17.2	南池 地点7
2017.7.5	13:45	12.4	南池 地点1 汽水池前

野鳥園の北池鋼管前の海水流入時の水質検査(一部の日では、流出時、護岸外側テトラポッドも検査) 測定:海遊館

測定日	測定時刻	天候	水温℃	DO mg/l	塩分	PH	濁度 NTU	GOD (mg/l)	NH4 (mg/l)	NO2 (mg/l)	NO3 (mg/l)	DIN (mg/l)	備考	
2017.3.16	9:30		10.34	8.06	28.2	8.04	1.3						pHはpH測定器	
2017.4.12	15:15	晴れ 風やや強い	15.37	9.83	27.3	8.12	2	0.1	0.2	0.005	1以下	1.205以下	GOD、三態窒素はバックテスト	
2017.5.10	15:00	曇り時々晴れ	20.73	10.01	25.7	8.42	3.7	2<4	0.2	0.005	0.8	1.005	硝酸のみバックにて測定(以後も同じ)	
2.17.6.10	15:55	晴れ	28.89	15.91	242.60%	26.4	8.95	9.9					鋼管前で干潟の海水が流出時に測定	
	16:00	晴れ	23.76	11.63	160.00%	22.8	8.6	3.6					外側テトラポッド上で測定	
	16:10	晴れ	27.42	10.02	146.10%	23.6	8.63	10.9	4	0.2	0.02	1.2	1.42	通常通り、海水が鋼管より流入する時点で測定
2017.7.5	13:25	小雨時々曇り	26.16	4.43	58.20%	12.1	7.99	19.2	8<10	0.2	0.02	1	1.22	昨日紀伊半島を台風通過。その後停滞前線の影響で本日午前中にかけて雨量多い。
2017.8.9	10:45	晴れ	27.38	3.51	51%	22.2	7.37	3.7	4	0.2	0.02	1.3	1.52	8月7日、台風5号紀伊半島上陸。7日大雨。
	10:50	晴れ	27.59	5.19	75.70%	22.9	7.83	3.2						外側テトラポッド上で測定
2017.9.6	13:40	晴れ	28.15	8.77	134.20%	26.7	8.44	7.3						鋼管前で干潟の海水が流出時に測定
	15:25	晴れ	27.51	5.81	87.30%	27.2	8.17	2.7	6<8	0.2	0.02	1.1	1.32	15:20頃から外海水が鋼管より流入したので、流入時点で測定

## 2. 湿地の手入れ（順応的管理）

- 1) 落ち葉投入エリアの状況
- 2) カキ礁の拡大エリアの改善  
カキ礁の移動による  
生き物の新たな生息場と鳥の餌場づくり  
(中学校との環境学習の一環として実施)
- 3) 漂着ゴミの回収活動
- 4) ヨシ刈り、休み場づくり(補修)
- 5) 南観察所の整備(観察会で利用できるように)

### 1) 2016年10月に落ち葉を投入したエリアの状況

(園内の落葉広葉樹:クヌギ・コナラ・エノキ)

目的:干潟の生きもの生息場を新たにすること

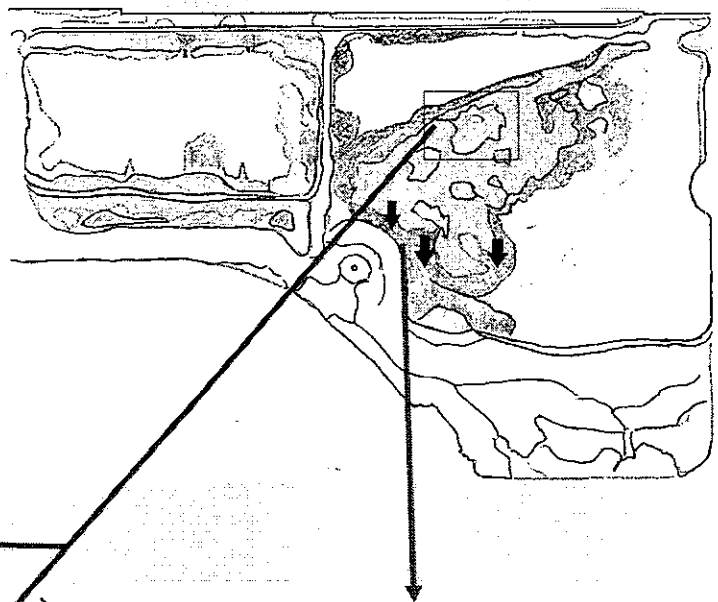
#### 1. 大阪市立大学との共同実験区

水質調査:水温,塩分,DO,pH,クロロフィル,栄養塩  
底質調査:間隙水中のpH,ORP,栄養塩濃度  
底質分析:AVS,CN,IL,粒度組成,クロロフィル濃度  
ベントス調査:種数と現存量(NPOと共同で)

#### 2. 市民との手入れ地区(NPOサポート)

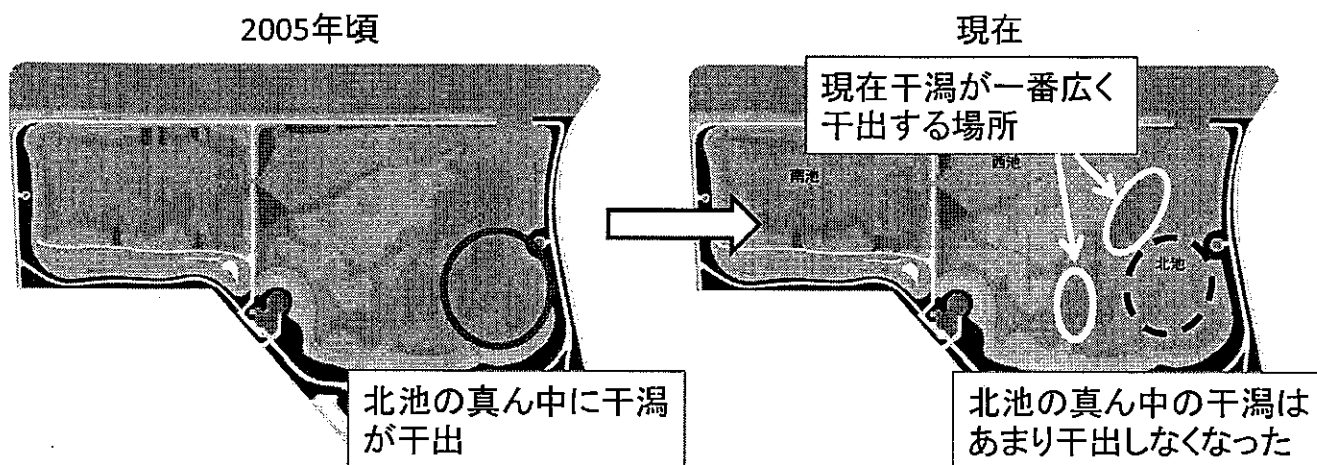
北池の展望塔前などの持ち運びしやすい浅場に  
春先や初冬に投入して、ベントスの長期変化をみる

2017年春に、シギ類やサギ類  
がよく利用するようになった。  
ミギワバエ、ユスリカ幼虫、海  
藻、ヨコエビ類が多くなり、今  
後も続けていく効果あり。



## 2) カキ礁拡大エリアの改善 築港中学校との環境学習

(海の宝アカデミックコンテスト2017に応募し優秀賞を受賞)



- 北池では、昔よりは少ないが、年平均1センチ前後の地盤沈下が進行しており、干潟の干出面積は少しずつ減少している。
- 北池で、カキ礁が覆うエリアを減らして、ヨコエビ類などを餌とする小型シギチ類が餌をとりやすくする

